

## 心理学理論と心理的支援

問題 8 次の記述のうち、内発的動機づけとして、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 大学の入試の要件となっているため、英語外部検定を受検した。
- 2 叱責されないように、勉強に取り掛かった。
- 3 授業中、寒いので、窓を閉めた。
- 4 お腹が減ったので、席を立って食事に行った。
- 5 投資に偶然興味を持ったので、勉強した。

問題 9 次の記述のうち、性格特性の5因子モデル(ビッグファイブ)の1つである外向性の特徴として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 ささいなことで落ち込みやすい。
- 2 新しいことに好奇心を持ちやすい。
- 3 他者に対して親切である。
- 4 他者との交流を好む。
- 5 責任感があり勤勉である。

問題 10 集団における行動に関する次の記述のうち、傍観者効果の事例として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 作業をするときに見学者がいることで、一人で行うよりも作業がはかどった。
- 2 革新的な提案をチームで議論したが、現状を維持して様子を見ようという結論になってしまった。
- 3 路上でケガをしたために援助を必要とする人の周囲に大勢の人が集まったが、誰も手助けしようとしなかった。
- 4 チームで倉庫の片付けに取り組んだが、一人ひとりが少しずつ手抜きをした結果、時間までに作業が完了せず、残業になってしまった。
- 5 リーダーがチームの目標達成を重視しすぎることで、チームの友好的な雰囲気が損なわれ、チームワークに関心がないメンバーが増えてしまった。

問題 11 子どもの発達に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 共同注意とは、他者との友情を構築することを示す。
- 2 初語を発する時期になると、喃語なんごが生起する。
- 3 社会的参照は、新奇な対象に会った際に、養育者などの表情を手掛かりにして行動を決める現象である。
- 4 アニミズムとは、自分や他者の行動を予測し、説明する力を指す。
- 5 物体が隠れていても存在し続けるという「対象の永続性」は、3歳以降に理解できるようになる。

問題 12 次の記述のうち、問題焦点型ストレス対処法(コーピング)の事例として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 介護ストレスを解消してもらおうと、介護者に気晴らしを勧めた。
- 2 困難事例に対応できなかったので、専門書を読んで解決方法を勉強した。
- 3 仕事がうまくはかどらなかったで、週末は映画を観てリラックスした。
- 4 育児に悩む母親が、友人に話を聞いてもらえて気分がすっきりしたと話した。
- 5 面接がうまくいかなかったので、職場の同僚に相談し、ねぎらってもらった。

問題 13 心理検査に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 乳幼児の知能を測定するため、W P P S Iを実施した。
- 2 頭部外傷後の認知機能を測定するため、P Fスタディを実施した。
- 3 投影法による人格検査を依頼されたので、東大式エゴグラムを実施した。
- 4 児童の発達を測定するため、内田クレペリン精神作業検査を実施した。
- 5 成人の記憶能力を把握するため、バウムテストを実施した。

問題 14 心理療法に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 ブリーフセラピーは、クライアントの過去に焦点を当てて解決を目指していく。
- 2 社会生活技能訓練(S S T)は、クライアントが役割を演じることを通して、対人関係で必要な技能の習得を目指していく。
- 3 来談者中心療法は、クライアントに指示を与えながら傾聴を続けていく。
- 4 精神分析療法は、学習理論に基づいて不適応行動の改善を行っていく。
- 5 森田療法は、クライアントが抑圧している過去の変容を目指していく。